

## 100戦「100勝0敗」への道！（知中生の皆さん・保護者の皆様へ）

校長 尾崎 淳一



今から約2500年前、中国は「春秋時代」と呼ばれる争いの多い世の中でした。隣の国との戦いに敗れば、国は滅び、大勢の人が命を落とすことになります。そこで、各国の王は競って兵法家〔戦争について研究する学者〕を招き、戦いに勝つための方法を学びました。この時代の最も有名な兵法家である孫武〔そんぶ＝人名〕が書いた『孫子』という書物に、次のような言葉があります。

**彼を知り、己を知れば、百戦して殆からず。** ※ 殆＝危

（かれをしり、おのれをしれば、ひやくせんしてあやうからず。）

**彼を知らずして、己を知れば、一勝一負す。**

（かれをしらずして、おのれをしれば、いっしょういちぶす。）

**彼を知らず、己を知らざれば、戦うごとに必ず殆し。**

（かれをしらず、おのれをしらざれば、たたかうごとにならずあやうし。）

ここに書かれていることは簡単です。「相手のことも味方のことも知っていれば、100回戦っても負けることはない。相手のことを知らずに味方のことだけ知っていても、勝ったり負けたりで勝負がつかない。相手のことも味方のことも知らなければ、必ず負けてしまう」ということです。

私が、今よりほんの少しだけ若く、「**ソフトテニスの名監督**」と呼ばれていた頃、自分のチームを鍛えることはもちろんですが、相手チームの得意な球や苦手な展開を分析し、それに合わせて練習メニューを工夫したことを思い出します。相手のプレーを想定して効果的に練習に取り組み、強豪校を倒して県大会に出場できたのです。

さて、知中生の皆さんは、テスト勉強の真っ最中ですね。今週末にテストが迫り、焦る気持ちもあるでしょう。そんなときこそ、「彼を知り、己を知れば、百戦して殆からず」の言葉を思い出してください。「彼を知る」ことは、テスト範囲を丁寧に見直すことでしょう。教科書のどこが重要か、どんな問題が出されるか……、これまでの授業にヒントがあるはずです。「己を知る」ことは、自分の実力を自覚することです。得意な点を伸ばし不得意なことを少なくする努力が大切です。令和2年度初の定期テストまで時間は限られていますが、知中生らしくベストを尽くしてくださいね。百戦して殆からず、自信をもってテストに挑めるよう願っています。「ファイト！」

3年生の保護者の皆様には、保護者会への御参加をありがとうございました。とても蒸し暑い体育館となってしまう、御迷惑をお掛けしました。激しい雷雨は避けることができ助かりましたが……。

今回は、進路指導主事と学年主任の話に絞っての開催でしたが、今後の参考にしていただけたことと思います。進路につきましては、入試までほぼ例年通りの動きとなっております。学校説明会等の情報を随時お知らせいたしますので、お便り等に丁寧に目を通してくださるようお願いいたします。

知中生は、今週末のテストに向けて、熱心に学習に取り組んでいるものと思います。いつも以上にお子様の健康状態に留意してくださいますよう、お願いいたします。

（令和2年6月30日）